

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公表番号】特表 2002-512097(P2002-512097A)

【公表日】平成 14 年 4 月 23 日 (2002.4.23)

【出願番号】特願 2000-544399(P2000-544399)

【国際特許分類】

A 6 3 B 37/00 (2006.01)

A 6 3 B 37/02 (2006.01)

A 6 3 B 37/12 (2006.01)

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】

A 6 3 B 37/00 L

A 6 3 B 37/02

A 6 3 B 37/12

C 0 8 L 67/02

C 0 8 L 101/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 18 日 (2006.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 少なくとも 1 の層を有するゴルフボールであって、前記層が、ポリ(トリメチレンテレフタレート)と少なくとも 1 つの他のポリマーを含むポリマーブレンドを含み、前記ブレンドが、実質的にポリアミドポリマーを含まないことを特徴とするゴルフボール。

【請求項 2】 コアとカバーを含み、前記コアの少なくとも 1 の層が、ポリ(トリメチレンテレフタレート)とポリブタジエンを含むポリマーブレンドから形成されており、前記ポリマーブレンドが実質的にポリアミドポリマーを含まないことを特徴とするゴルフボール。

【請求項 3】 前記少なくとも 1 の層が、ゴルフボールのカバーであることを特徴とする請求項 1 に記載のゴルフボール。

【請求項 4】 前記少なくとも 1 の層が、発泡構造を有することを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載のゴルフボール。

【請求項 5】 好ましい曲げ弾性率が、1000～150,000psiであり、ショア D 硬度が 15～80であることを特徴とする請求項 1、2、3 または 4 に記載のゴルフボール。

【請求項 6】 前記ポリマーブレンドが、10～90 質量パーセントのポリ(トリメチレンテレフタレート)と、90～10 質量パーセントの少なくとも 1 つの他のポリマーとを含んでなることを特徴とする請求項 1 に記載のゴルフボール。

【請求項 7】 前記少なくとも 1 つの他のポリマーが、ポリウレタン、エポキシ樹脂、ポリスチレン、アクリル、ポリエチレン、ポリエステル、ポリカーボネート、酸コポリマー及びそのアイオノマー誘導体、及びそれらの混合物からなる群より選択されることを特徴とする請求項 1 または 6 に記載のゴルフボール。

【請求項 8】 コアと、カバーと、該カバーと該コアとの間に配置された少なくとも

1 の中間層とを含んでなることを特徴とする請求項 1、2 または 3 に記載のゴルフボール。

【請求項 9】 前記少なくとも 1 の層が、コア層であることを特徴とする請求項 1 または 8 に記載のゴルフボール。

【請求項 10】 前記少なくとも 1 の層が、中間層であることを特徴とする請求項 8 に記載のゴルフボール。

【請求項 11】 前記ポリマーブレンドが、さらにエラストマーを含むことを特徴とする請求項 1、3、9 または 10 に記載のゴルフボール。

【請求項 12】 前記ポリマーブレンドが、前記エラストマーの 100 部に対して 75 pph までの量でポリ(トリメチレンテレフタレート)を含むことを特徴とする請求項 11 に記載のゴルフボール。

【請求項 13】 前記ポリマーブレンドが、ポリブタジエン 100 部に対して 5 pph ~ 40 pph の量でポリ(トリメチレンテレフタレート)を含むことを特徴とする請求項 2 に記載のゴルフボール。

【請求項 14】 前記コアが液体中心を含み、少なくとも 1 の層が液体中心の周りに配置されていることを特徴とする請求項 2 または 9 に記載のゴルフボール。

【請求項 15】 前記少なくとも 1 の層がコアの周りに巻きつけられた層であることを特徴とする請求項 1 に記載のゴルフボール。

【請求項 16】 ゴルフボールの製造方法であって、以下の工程： ゴルフボールコア層を形成する工程；及び前記コア層の上にカバー層を成形して、ゴルフボールを形成する工程；

を含んでなり、前記コア層とカバー層の少なくとも 1 の層が、ポリ(トリメチレンテレフタレート)と少なくとも 1 つの他のポリマーを含むポリマーブレンドからなり、前記ポリマーブレンドが実質的にポリアミドポリマーを含まないことを特徴とする方法。

【請求項 17】 さらに、少なくとも 1 の中間層を、前記コア層の周りに形成する工程を含むことを特徴とする請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】 前記少なくとも 1 つの他のポリマーが、ポリウレタン、エポキシ樹脂、ポリエチレン、ポリスチレン、アクリル、ポリエステル、ポリカーボネート、酸コポリマー又はそのアイオノマー誘導体、及びそれらの混合物からなる群より選択されることを特徴とする請求項 16 に記載の方法。